

ATR顔表情データベース

FaceExpressionImages

概要

●ATR顔表情データベースは、株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）において顔認知研究のための心理実験刺激データとして作成された顔表情の静止画像データベースです。

●日本人モデル10名（男性6名、女性4名）が表出する10種類の表情（真顔、喜び（開口/閉口）、悲しみ、驚き、怒り（開口/閉口）、嫌悪、軽蔑、恐れ）を、正面顔だけでなく視線や顔向き変化でも撮影した顔表情データと、顔表情データに対する心理評定データから構成されています。

●2006年度より多くの大学や研究機関において心理学研究/教育などに利用されています。



動画データの追加を予定!

データベース内容

●顔表情パターン画像：

・10種類の表情：正面



NE:真顔



SO:喜び(開口)



SC:喜び(閉口)



AC:怒り(閉口)



AO:怒り(開口)



SD:悲しみ



FE:恐れ



SP:驚き



CT:軽蔑



DI:嫌悪

・視線/顔角度変化（一部）



正面：視線15度
SO



正面：視線30度
SO



正面：視線45度
SO



顔向き30度：視線0度
NE



顔向き30度：視線0度
SO

●心理評定データ：

- ・表情パターンの表出度を27名の評定者により評価
- ・刺激データ選択の評価基準としての利用を想定

仕様

1.モデル

- ・属性：日本人、20歳代から30歳代前半、演劇などで表情形成に関する基礎的な訓練を受けているもの
- ・人数：10名（男性：6名、女性：4名）

2.表情カテゴリー：真顔を含め10種類（[]内は表情コード）

- (1)真顔[NE],(2)喜び（開口）[SO],(3)喜び（閉口）[SC],(4)悲しみ[SD],(5)驚き[SP],(6)怒り（開口）[AO],(7)怒り（閉口）[AC],(8)嫌悪[DI],(9)軽蔑[CT],(10)恐れ[FE]

3.視線・顔向き変化：正面顔だけでなく、視線や顔の向きを変化させた顔画像データを持つ

- ・視線変化：正面に視線を向けた状態を視線0°
15°,30°,45°の3パターンの視線角度変化
- ・顔向き変化：正面顔を顔向き0°
15°,30°,45°の3パターンの顔向き変化

4.データ構成：表情カテゴリーと視線・顔向き変化の組合せにより、モデルごとにつぎのような画像データがある

○正面顔：front

- ・(2)から(10)の9表情を3回以上（最大7回）表出：(1)真顔は全モデル1回のみ
- ・画像数/モデル：28以上（最大37）

○視線変化：gaze

- ・6表情((1)真顔,(2)喜び（開口）,(3)喜び（閉口）,(4)悲しみ,(6)怒り（開口）,(7)怒り（閉口）)と3視線（15°,30°,45°）の組合せ18種類を各1回表出。
- ・画像数/モデル：6×3=18（ただし男性1名（モデルID:M01）は無し）

○顔向き変化：face

- ・6表情((1)真顔,(2)喜び（開口）,(3)喜び（閉口）,(4)悲しみ,(6)怒り（開口）,(7)怒り（閉口）)と3顔向き（15°,30°,45°）の組合せ18種類を各1回表出。
- ・画像数/モデル：6×3=18（ただし男性1名（モデルID:M01）は無し）

5.データ作成方法とデータ形式

- ・表情表出状況を撮影したビデオ映像から、表情の表出度がピークに達したと判断される画像を非圧縮で切り出し（キャプチャー）して作成
- ・画像データ形式：BMP（Microsoft Windows Bitmap Image）

価格（消費税等を含まず）

アカデミック：¥90,000

研究利用：¥180,000

株式会社 ATR-Promotions

コーパス事業部

E-mail: corpus@atr-p.com

〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台2-2-2

TEL:0774-95-1300 FAX:0774-95-1191

<https://www.atr-p.com/>

- 本データベースの知的財産権は(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、および(株)ATR-Promotionsに帰属します。
- 本データベースの仕様/価格は予告なしに変更されることがあります。